

地域住宅生産者グループ ふくしま建築集団

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
真壁の家	福島県全域

グループの特徴とメッセージ

私たちの住まい造りは、家族と土地の個性を活かし、周辺地域をも元気にするものです。

丁寧な、そしてより良い住まい造りのための契約方法として、設計と工事を別契約とする形をとっています。これは各責任を明確化し、一棟一棟丁寧に造ろうという思いからです。

各社のノウハウ（住宅設計一筋30年2011年度グッドデザイン賞受賞設計事務所、社員に大工を連ねる大正創業の工務店、木造仮設住宅建設の工務店等々）を最大限に活かし、迅速で高品質な住宅の供給を実現いたします。

ふくしま建築集団は、福島県の危機に建築技術を手を立ち上がりました。継続的に放射能対策住宅やパッシブソーラー住宅などの提案を行ってまいります。

グループの基本情報

グループ名称	ふくしま建築集団
所在地	福島県福島市森合字西養山15-1
結成年月	2011年12月
グループ形態	任意団体
主たる業態	設計・施工
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計31社(2012.06.12現在) 原木 : 2社 製材 : 5社 建材流通 : 4社 プレカット : 2社 設計 : 3社 施工 : 10社 その他 : 5社
代表者名	遠藤 知世吉 (遠藤知世吉・建築設計工房)

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	A:1,485万円、B:1,260万円
価格の基準面積	A:105.98㎡、B:89.42㎡
価格に含まない項目	屋外設備工事費、外構工事費、設計料、諸手続費など

*価格は、敷地、プラン内容、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	24戸
うち地域材活用の住宅	12戸
うち長期優良住宅	0戸
グループとしての施工実績	なし
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	200戸

*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	遠藤知世吉、遠藤知絵	メール	eca21@ht-net21.ne.jp
電話番号	024-536-4464	FAX	024-536-4468
ホームページ	http://www12.plala.or.jp/fat/ （検索「ふくしま建築集団」）		
自由記入欄	相談は無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。		

地域型復興住宅

真壁の家

地域型復興住宅のイメージと特徴



真壁の家

■ふくしまの自然を味方につける、家づくりです。

「真壁の家」は柱に、一般の柱サイズ約4倍の20cm角を使った、真壁造り・木構造の家です。柱を閉じ込めず「呼吸をする構造」です。長さ4mの通し柱で、1階建てのボリュームで2階建てを実現しました。

二案ご用意したマスタープランは「高齢者対応型」となっています。

内部の柱・梁も表しとし、木の風

合いに包まれる室内となっています。吹抜けで1階と繋がる2階は、すぐには仕上を行わず、使い方に合わせて変えられるスペースとしました。その他、収納工夫や、室内物干し、深い軒の出による採光調整、風通しを考えた開口計画など、自然に溶込む造りです。



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：57.96㎡ 2階：40.02㎡
設計	ふくしま建築集団 (遠藤知世吉・建築設計工房)	施工	ふくしま建築集団
施工費	1,485万円(設計費用等は除く)	備考	詳しくはどうぞお問合せ下さい

設計方法や地域材活用に関する特徴

■「住まいは買うものではなく、創りあげるもの」という思い。

住まいづくりには、人・敷地・地域・風土の研究が欠かせないと考えています。「住宅建築は、敷地と住み手の研究から」を実践し、マスタープランをベースとしながらも、敷地・家族に合わせた柔軟な対応を行います。

県産材を使い、地域に根ざした構造によって、故郷の良さを再認識できる住まいを造りあげるためにも、木材等

材料納入時と施工後に放射線量の測定を行い記録、報告を行います。高い値の場合は材料変更等の適切な処置を行っていきます。

主に活用する地域材について

地域材の名称	福島県産材
樹種	杉、アカマツなど
産地	福島県
認証制度等	福島県産材認定制度
主に取扱う材種	無垢材
主に取扱う部材	柱材、梁材、内装材等

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■シンプルで、頑丈な家です。

- ① 20cm 角の県産杉柱を使用、内外真壁造りの木構造です。
- ② 地震に強い家になります。(耐震壁量を法律の 150%以上とします)
- ③ 長さ 4m の通し柱を使用し 1 階建てのボリュームで 2 階建てを実現。通し柱は通常の 2 倍以上の本数とし、低い軒高で安定した構造としました。
- ④ 土間・サンルームの半屋外空間を作り、外と室内の緩衝材となる空間を確保し、物干しコーナー、屋内菜園などに使えます。
- ⑤ ダイレクトゲイン蓄熱床を採用するサンルームは、冬季の室内に温かい空気をもたらします。
- ⑥ 吹き抜けにより 1 階と 2 階を一体空間としました。
- ⑦ その他、「べた基礎」「通気層構造」「深い軒の出(970mm)」「通風配慮」「採光確保」「省エネ等級 4 の高断熱」「材料が呼吸する構造」「南外壁の突出し梁を利用した日除けの提案」など、福島を自然を味方につける造りです。



※イメージ（グループ内設計監理建物）



※イメージ（グループ内建築建物）

地域住宅生産者グループ

ふくしま建築集団

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■ 県内全域での供給体制にします。

伊達市、田村市、会津若松市の工務店が、それぞれ周辺地域を担当し、県内全域での施工が可能です。設計事務所は福島市と郡山市におき、県内全域各地での打合せに対応します。

(2011年3月1日現在)

また今後更なる連携体制を拡大させ(県内全体に工務店10社以上に増加)、県内全域供給を確かなものとします。

また流通資材の調達は、メンバーの材木店が中心となり、安全な県産材の安定した流通ルートを確認していきます。



※イメージ (グループ内設計監理建物)



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■ 「三権分立式」の体制です。

各設計事務所が中心となり、資金面を含めた計画をお手伝いします。工事期間は設計者が現場に立会い、確認・打合せを6回以上行います。設計・施工者でタイアップし、放射線測定等も行いながら工事にあたっていきます。

完成後は、設計・施工両者でアフターフォローをしていきます。

また、契約方法として、設計と施工を別契約とする方法をとっています。これは、役割をはっきりさせることにより、住まい手にとってより良い体制をとるためです。

